

「やってみよう」が未来をつくる～Be the First Penguin!～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN No. 40

2026.3
春号
SPRING

今号のテーマ **卒業・修了を迎えて**



Contents

- | | | |
|----------------|--------------|------------------|
| 01 巻頭のことば | 08 学生会・寮生会から | 15 受賞報告 |
| 02 卒業生・修了生に向けて | 10 退任教職員から | 17 諸だより |
| 05 卒業生・修了生から | 11 進路速報 | 18 News & Topics |

饒の言葉

校長 高松 洋



本科を卒業する皆さん、専攻科を修了する皆さん、おめでとうございます。就職、進学と皆さんの進路はひとそれぞれですが、学びに終わりはありません。熊本高専で築いた自分の基礎に自信を持って、さらに研鑽を続けていってください。

今年の春は、私自身も熊本高専を卒業します。4年間はあっという間でした。熊本高専は2キャンパスに分かれていることもあって、残念ながら学生の皆さんと直接かかわる機会がほかの高専より少なかったのではないかと思います。オープンキャンパスや高専祭、電波祭で皆さんと話ができたこと、ロボコン等の応援に行ったこと、様々な受賞等の報告に来てくれて校長室で話ができたことは大変嬉しい思い出です。また、始業式や終業式での講話では、ひとの立場に立ってものごとを考えることの大切さに

ついて、必ず触れてきました。相手やひとのことを考えることは、モノづくりに限らず、社会の中で生きていくには大変大事なことです。在学生の皆さんも含めて、皆さんもう一度しっかり心に留めておいて欲しいと思います。

この4年間、さまざまなことに取り組んできましたが、最も重要なことは、身の回りの小さいことであれ、大きなチャレンジであれ新しいことに躊躇しないこと、すなわちファーストペンギンであることだと思います。チャレンジを厭わない、というより普通に自然体で新しいことに取り組む熊本高専と熊本高専の卒業生であって欲しいと願っています。それこそが、これからの日本にとって最も大事なことだと思います。不安に思ったら、吟一郎のストラップを見て自分を励ましてください。

学校はインキュベーションの場です。社会に出るとは、その守られた場から解放され自力で生きていくことにほかなりません。最初に書いたとおり、熊本高専で築いた自分の基礎に自信を持って、そして将来を切り拓いていってください。

今後の皆さんのご健康とご活躍を心より祈っています。

卒業・修了生に向けて

熊本キャンパス奨学後援会 会長 長生 修



本科を卒業する皆さん・専攻科を修了する皆さん、おめでとうございます。また、保護者の皆さま、奨学後援会を代表して心からお慶び申し上げます。皆さんの高専生活は、コロナ禍の影響が多くあったと思います。それでも、日々の学業・研究活動、電波祭などの校内行事、高専大会・プロコン・ロボコンなどの学外行事に力を注ぎ、高専の仲間と素晴らしい成果をあげられたことに敬意を表します。進学、就職とそれぞれの道へ進むことなる皆さんへのはなむけを。「誰も知らない世界へ向かっていく勇気を“ミライ”っていうらしい」「あと一歩だけ、前に、進もう」(Progressより 作詞：スガシカオ)

卒業生・修了生にむけて

八代キャンパス後援会 会長 星田 和哉



本科卒業・専攻科修了を迎える皆様、ご卒業誠におめでとうございます。本日まで卒業を迎えられる皆様にとって高専生という学生生活はいかが過ごされたでしょうか。入学時の幼さが残る面影はなくなり、成人し大人の仲間入りをして巣立っていくという高専特有のカリキュラムにより、我々保護者後援会一同にとっても、人としての成長が感じられる日々を過ごせたと思います。

現在、世界情勢は混迷し、日本経済においても物価高騰をはじめとした様々な将来的不安を持つ方が多いと思います。しかし、高専で得た専門知識と技術、ものの見方・考え方や人を理解し思いやる人間性などは、未来を切り開くための大きなアドバンテージとして大切に、社会人としての

スタートをきっていただきたいと思います。

皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。

卒業生に贈る言葉

情報通信エレクトロニクス工学科5年担任 本木 実



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

電波祭、クラスマッチ、学生会など様々な学生主体イベントや、高専大会、コンテストなど、かけがえのない貴重な体験となったでしょうか。

「切磋琢磨」皆さんの学年は、この言葉が、とても腑に落ちる学年だったと思います。授業や実験、卒研などでは、皆さんは本当に、真摯に勉学に取り組んでいたように思います。殆どの学生が緩みすぎることなく、また、過度に争い、他人をおとしめることなく競い合っていた、磨きあっていた。

この時期、熊本に世界的半導体製造メーカーの進出、半導体人材育成の隆盛もありました。本校でもキャリア教育の充実が進み、自己分析と業界研究を比較的長い期間行ってきました。十分に検討して進路を決定したと思いますし、それが今後十分生かされていくよう願っています。

先行き不透明な世の中、そういわれ続けて久しいです。本校で培った学習習慣（勉強せずにはいられない自分）を信じ、今後も自身で道を拓いていくよう期待しています。くれぐれも体を大事に、今後のご多幸とご健勝を祈念しています。

卒業生への言葉

制御情報システム工学科5年担任 嶋田 泰幸

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新たな門出にあたり、これからの人生でふと思い出してほしい言葉を贈ります。

焦って結果を求めたり、周囲と比べて不安になったりすることもあるでしょう。しかし、本当に大切な成果や信頼関係は、一朝一夕では築けません。

「If you want to go fast, go alone. If you want to go far, go together. (早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け)」という諺があります。

自分一人で抱え込まず、支えてくれる人への感謝を忘れず、仲間と力を合わせて歩んでください。自分らしい色で夢や希望を描き、困難ささえ糧にしながら、一步ずつ前へ進んでください。

皆さんのこれからの光に満ちたものであることを心より願っています。

卒業生へのメッセージ

人間情報システム工学科5年担任 島川 学



4月から、皆さんが選択したそれぞれの進路での新しい生活が始まりますね。システム工学（HI5）の授業の中で「意思決定問題」という項目が出てきました。意思決定をするということはとても難しいことです。進路を決めるときもかなり悩んだことでしょう。意思決定が難しいのは、将来の結果が不確実であること、評価基準が複数あって比較が難しいこと、失敗や後悔への不安があること、自分の価値観が十分に定まっていないこと、周囲の期待や社会的圧力の影響を受けることなどが理由として考えられます。皆さんは進路について意思決定をしましたが、それが最適解であったかは誰にも分からないことです。そもそも最適解が存在するかも分かりません。だからこそ、これからの経験や努力によって、その選択を「良い決断だった」と言えるものにしてもらいたい。皆さん一人ひとりの歩みが、自分なりの正解を形づくっていくことを願っています。卒業おめでとう。

卒業生に贈る言葉

機械知能システム工学科 5年担任 毛利 存



5年生の皆さん、卒業おめでとうございます。このクラスとは、3年生からの3年間、担任として関わってきました。私にとってはあっという間の3年間でしたが、皆さんにとっては長く、いろいろなことがあった3年間だったことと思います。

この3年を振り返ると、良く言えば自由な、悪く言えばややまとまりに欠けるクラスだったという印象があります。しかし、一人ひとりの学生にはそれぞれ良いところがあり、互いに程よい距離感を保ちながら接していた点は、このクラスの大きな特徴であり、全体としてはとても良いクラスだったと感じています。

印象に残っている行事としては、やはり海外研修旅行が挙げられます。私は年齢のせいかな長時間の移動や現地の暑さに疲れてしまいましたが、皆さんが生き生きと楽しんでいる姿を見ることができ、大変良い思い出となりました。

これから皆さんはそれぞれの道へと進んでいきますが、それぞれの分野で力を発揮し、充実した人生を歩まれることを心より願っています。

これからも「ご安全に」

建築社会デザイン工学科 5年担任 上久保 祐志



卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。あっという間の5年間だったのではないのでしょうか。入学時はコロナ禍で、PCR検査や濃厚接触者といった言葉すらも蔓延し、混沌としていました。特に寮生は、集団生活をするなかで、戦々恐々と過ごしていましたね。そのような大変な時期を乗り越え、皆さんは晴れて卒業を迎えます。3年生の担任であった橋本先生の御指導のもと、4年生になって担任を引き継いだ際には、自分で考えて行動することができていました。さらにインターシップ、研修旅行、就職活動を経て、大きく成長を遂げていった手応えも感じました。これから社会・専攻科・大学で活躍していけば、もっと成長していくことでしょう。ただし、今後の優先順位について再確認しておきましょう。1に健康、2に家庭・家族、3に仕事・学業・趣味。何より健康第一です。健診や人間ドックは、率先して受けましょう。ご安全に！

卒業生に送る言葉

生物化学システム工学科 5年担任 富澤 哲



本科での生活はいかがでしたか？精神的・肉体的に成長し、充実した数年間だったとの回答が得られることを願っています。さて、入学時の目標は達成できましたか？入学後に目標を変更した方や、生活の中で新たな目標を見つけた方もいるかもしれません。もし目標を達成した、あるいは実現に近づけたのなら、自分に対して合格点を与えてください。忙しい日々の中で目標を忘れてしまいましたか？経験上、短期間の目標であっても忘れやすく、難しすぎる目標は挫折感を招きます。実現可能な目標を掲げ、日々自分に言い聞かせることが大切かもしれません。卒業後は新しい目標を持って生きていくことでしょう。初期の目標を維持することも、状況に応じて目標を見直すことも重要です。今後も精神的な満足を得られるよう努めて

欲しいなと思います。

来年度からは新しい環境が待っています。心身ともに健康を保ち、幸せな人生を歩んでください。卒業おめでとうございます。

修了生の皆さんへ

電子情報システム工学専攻 専攻長 葉山 清輝



専攻科の修了、誠におめでとうございます。これまでの研鑽と努力に心より敬意を表します。また保護者の皆様におかれましても深くお祝い申し上げます。

電子・情報・通信・制御技術を学んだ皆さんは、データや理論をそのまま受け入れるのではなく、実験や検証を通して確かめる姿勢を身につけてきました。近年は、真偽の定かでない情報や巧妙に作られたフェイク動画が容易に拡散する時代となりました。だからこそ画面の中の情報だけで判断せず、自分で本質を考える姿勢が重要になります。

社会に出れば、皆さんの技術は現実の人や環境と直接向き合い、結果に対する責任を伴います。現場での実体験こそが確かな技術力を育てます。誠実さと探究心を忘れず、信頼される技術者としてそれぞれの分野で未来を築いていけることを心から期待しています。

修了される専攻科の皆さんへ

生産システム工学専攻 専攻長 村山 浩一



専攻科2年生の皆さん、このたびは専攻科修了、誠におめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましても、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは本科から数えて7年間という長きにわたり、熊本高専八代キャンパスで学んでこられました。その間には、大変なこと、辛いこと、悲しいこともあったかと思います。しかし皆さんは、その一つ一つを乗り越え、新たなステージへと歩み出そうとしています。その努力と成長に、心から敬意を表します。

これからの長い人生では、これまで以上の困難に直面することがあるかもしれません。もしそのような時が訪れても、どうか決して諦めることなく、一歩ずつでも前へ進み続けてください。

“Only in the darkness can you see the stars.” — Martin Luther King, Jr.

これから沢山の出会いに

熊本電波同窓会 会長 古庄 直樹



熊本高専本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、おめでとうございます。希望に満ちた新しいステージへの出発を、こころよりお祝い申し上げます。

熊本高専で学んで磨いた知識や技術は、これから皆さんが会う人との対話の中でさらに価値を増すでしょう。高専の仲間、企業の先輩、地域の方々、その一つひとつの出会いが次の挑戦を運び、視野を広げ、志を深めてくれます。これからの出会いと人とのつながりに感謝して、どうか自分から扉を開き、人生の可能性を広げ、これから遭遇する様々な課題に、前向きに挑戦していきましょう。

何かに躓いた時にはいつでも高専の先輩や同窓会を頼ってください。今後の皆さんのご健康とご活躍を心より祈っています。

卒業生のみなさまへ

八代キャンパス同窓会 楷友会会長 中山 諭扶哉



卒業・修了される皆さん、誠におめでとうございます。

熊本高専で過ごした日々は、時に大変で、時に夢中になりながら、仲間と支え合って歩んだ掛け替えのない時間だったと思います。そこで培った知識や技術、粘り強く考え抜く力は、これからの人生において必ず皆さんを支える大きな財産となります。

社会は今後も大きく変化していきますが、「自ら考え、学び続ける姿勢」を忘れず、一歩ずつ前に進んでください。

同窓会は、世代や分野を超えて人と人をつなぐ場であり、いつでも皆さんの味方です。ぜひ同窓会行事へご出席いただき、年会費を通じた活動へのご支援にもご協力をお願いいたします。

皆さんの今後のご活躍と、社会でのさらなる飛躍を心より期待し、末永いご健勝をお祈りいたします。

高専生活を振り返って

情報通信エレクトロニクス工学科5年 三池 陽奈子



五年間の高専生活は、今振り返ってみると本当にあっという間でした。在学中には、電波祭のSE企画長、女子寮生活委員長、選挙管理委員長、留学生のチューターなど、さまざまな役割を経験させていただきました。楽しいことだけでなく、責任の重さに悩んだり、思うようにいかず苦しい思いをしたこともありましたが、それら一つ一つの経験が今では自分の糧となり、大きな成長につながったと感じています。

また、かけがえのない友人たちと出会えたことは、何よりも大きな財産です。楽しいことやつらいこと、喜びや悲しみを共有し、ともに勉学に励み、時にはふざけ合いながら過ごした日々は、尽きることのない大切な思い出です。この高専で仲間たちと出会い、ともに過ごすことができたことを、心から誇りに思っています。

最後に、これまで温かく支えてくれた家族や日々ご指導くださった先生方をはじめ、私に関わってくださったすべての方に心より感謝申し上げます。



あっという間だった高専生活

制御情報システム工学科5年 辻 明彦



気がつけば、五年間の高専生活も終わりを迎えようとしています。

三年からこのクラスになり、ここまでクラスメイトのことを好きになり、深く仲良くなるのは正直思ってもいませんでした。ハロウィンではE-5系新幹線のコスプレ、研修旅行ではシンガポールを訪れ、異文化に触れる貴重な経験をしました。長崎で食べた佐世保バーガー「ヒカリ」の味や、阿蘇での工場見学も強く印象に残っています。どんな活動も、みんなと一緒にだったからこそ楽しく、忘れられない思い出になりました。

クラスマッチの綱引きでは全員が力を合わせて優勝することができ、その瞬間、CI5としての強い絆を実感しました。楽しいことだけでなく、日々の授業や課題を共に乗り越えた時間が、私たちを本当の仲間にしてくれたのだと思います。このクラスで卒業を迎えられることを心から嬉しく思います。卒業後も集まり、一生付き合っていきたいと思える友人に出会えました。熊本高専、そしてCI5、万歳です!!



高専でよかったと思っていて

人間情報システム工学科5年 眞田 悠矢



3年生くらいまでは「5年間は長いな」、「どうせ卒業しても寂しくもないだろうな」と思っていたのですが卒業間近であっという間だったし、今すごく寂しいです。中学校の卒業と違ってなかなか会えない人や、一生会えない人もいるだろうし、それを惜しく思える友人を高専で作ることができてとてもうれしく思っています。

高専ではたくさんのことを学びましたが何より関わりの輪が大きくなったことが一番だと感じています。高専には個性的な人が多いと入学する前も噂で聞いていたし、高専で過ごす中でも感じていましたが、今となってはそんな自分とは違う何かを持った人とぶつかって今の自分があるのかなと思っています。おかげで人間関係の食わず嫌いが治りました。

国際交流活動など高専には挑戦できるチャンスがたくさんあり、その度にたくさんの人と関わってこられました。学生同士以外でも学生課や先生などの自分よりずっと大人の人との関わりもとても思い出に残っています。

僕のことも高専のことも忘れずにみんなの思い出になっていることを望みます。

5年間ありがとうございました!



5年間を振り返って

機械知能システム工学科5年 竹下 慶



高専に入学した時は5年間というのはとても長いと思っていましたが、もう自分が卒業の年になっておりあつという間の5年間だったと感じています。入学した当初は友人ができるのか勉強についていけるのかなど不安なことがたくさんありましたが、クラスメイトや他学科の人とも仲良くなれ、友人達から試験期間の際は勉強を教えてもらったりしながらなんとか卒業までたどり着くことができました。

改めて高専生活を振り返ると、本当に周りとの協力があった5年間でした。試験期間はもちろん、部活動や高専祭など、友人達との協力がなければ乗り越えられなかったこともたくさんありました。周りに恵まれたことが1番この高専生活で良かったことかもしれません。他にもお世話になった先生方、支えてくれた両親には感謝してもしきれません。辛いこともありましたがその何倍も楽しい思い出が多い高専生活でした！！本当にありがとうございました！！



挑戦できた5年間

建築社会デザイン工学科5年 徳本 豪海



何かを追うこともあれば、何かから逃げたり、何かを得ることもあれば、捨てることもあり。自分が過ごしてきた5年間はこれらの繰り返しみたいなものでした。

4、5年時に級長を務めた際には、クラスメイトのみんな個性が強く豊かであり、正直なところ手に負えないと感じる場面しかありませんでした。しかし、授業の課題やテスト勉強、球技大会、クラブバザーの際の団結力は凄まじく、一丸となって新鮮な毎日を楽しむことができました。寮生活では張り切って遊んだ日々を過ごし、デザコンやブリコンに出場した際には企業賞や最優秀賞を獲得する結果を残せました。高専内だけで留まらず、他大学や他高専の生徒との交流が大会を通して行えることが出来たり、仲間と協力し時間の流れを忘れていた努力の日々が本当に楽しかったです。

数多くの挑戦や経験が重なり、30年ほど長い時間を体感したような5年間でした。これまでの高専生活でお世話になった家族や先生方、クラスメイトには改めて感謝申し上げます。5年間お世話になりました！

5年間を振り返って

生物化学システム工学科5年 今村 優



この春、私は高専を卒業します。もし、5年前の自分にメッセージを送れるとしたら、「学生会とリベラルアーツの活動には、全力で取り組んで！」と伝えたいです。それくらい、私にとって貴重な経験でした。学生会とリベラルアーツは、クラス外の人と関われる特別なコミュニティでした。もちろんそれぞれの活動での学びもありましたが、それ以上に先輩・後輩との繋がりができ、色々な考えに出会えたことがとてもうれしかったです。特にリベラルアーツでは、いぐさをテーマに地域に貢献できたことが光栄でした。高専に入学した日から今日まで、多くの友人や恩師との出会いに恵まれ、様々な経験を通して、成長することができました。クラスのみんな、本当にありがとう。これからは、社会人として、高専で学んだことを生かし、製薬会社での仕事に誠実に取り組みながら、周囲の方々への感謝を忘れずに、努力していきたいと思います。今まで本当に世話になりました。

熊本高専での七年間を終えて 電子情報システム工学専攻2年 松岡 朝陽



幼いころ、ゲームが好きで「ゲームクリエイターになりたい」と夢見ていた私に、母が勧めてくれたのが熊本高専でした。中学校時代もその熱は冷めず、無事に入学できた時は本当に嬉しかったことを覚えています。しかし、入学当時の私はパソコンもほとんど触ったことがなく、専門知識もゼロでした。本科一年生の春は「留年せずに卒業できるだろうか」と不安な気持ちが強かったのですが、一から教えてくださる先生方や、共に頑張れる友人のおかげで、いつの間にか高専生活を心から楽しめるようになっていました。

私の中で、高専生活で一番思い出に残っているのは、テスト勉強です。テスト期間の夜になると仲の良い友人達とのグループ通話が始まり、朝方まで必死に問題演習や解説を繰り返しました。難しい問題に頭を抱え、睡魔と闘いながら過ごした時間は、今となっては笑い話です。正直、あの過酷な勉強はもう二度とやりたくありませんが、お互いの点数を上げるために一致団結して教えあった時間は、私にとって「青春」そのものでした。

本科と専攻科合わせて七年間の熊本高専での生活は、楽しいことばかりではありませんでしたが、熊本高専で学び、最高の仲間に出会えたことを誇りに思います。春からは社会人として、ここで培った知識と技術を生かし、人々の暮らしを豊かにできるエンジニアを目指して頑張ります。七年間、本当にありがとうございました。

多くの学びと経験に満ちた7年 生産システム工学専攻2年 井本 結菜



私の高専7年間は貴重な経験に恵まれた日々でした。専攻科の2年間だけでも、休みには仲間とBBQ・四国や広島旅行を楽しみ、学校では、自分で計画した講習会の実施、水田除草ロボの製作、SPSの企画など、様々なことに挑戦し、私だけの高専生活を彩ってきました。専攻科入学直後は、これまでの仲間と離れた寂しさを感じる時もありましたが、専攻科で新しい仲間と出会い、研究やプロジェクトの中で先輩や後輩との交流を深め、多くの人の考え方に触れ、視野が広がりました。そんな中で、私が進みたい道も次第に明確になっていきました。将来について考える中で、進学が最良な道だと感じる一方で、就職をする方が現実的ではないかと悩んだ時期もありました。そんなとき、先生方に進学を勧めていただき、先生や家族、友達からの助言に背中をおされ、自分なりに考え抜いて悔いのない決断

を下すことができました。今は、その決断が今後どう影響をもたらすのか不安もありますが、悩み抜いて選んだ道だからこそ信じて、自分らしく前に進んでいきたいと思っています。

結びに、さまざまな活動を行う中で、先生方には本当にたくさんのご迷惑をおかけしたと思います。それでも温かく見守り、支えてくださったことに、心から感謝しております。高専生活で関わったすべての方々のおかげで、多くの学びと経験に満ちた7年間を過ごすことができました。本当にお世話になりました。



感謝

熊本キャンパス学生会会長 人間情報システム工学科4年 福島 優芽



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

先輩方と共に過ごした4年間は、行事や部活動、学生会を通して、さまざまな経験をさせていただいた、楽しくてかけがえのない日々でした。自分一人では決してできなかったような挑戦や役割を任せていただき、失敗や成功も含めて、多くのことを学ばせていただきました。

振り返ると、私たち後輩は未熟で、至らない点も多く、先輩方にご迷惑をおかけしてしまった場面も少なくなかったと思います。それでも、決して見捨てることなく、最後まで向き合い、支え、育ててくださったことに、心から感謝しています。先輩方が背中ですべてくださった責任感や行動力、そして仲間を思いやる姿勢は、今の私たちの大きな支えであり、目標です。

また、行事や活動だけでなく、一緒にごはんを食べたり、何気ない会話をしたりした日々も、今思えばとても大切な思い出です。そんな当たり前のように過ごしていた時間が、これから少しずつなくなってしまうと思うと、寂しさを感じずにはられません。

これから先輩方は、それぞれ新たな道へ進まれることと思いますが、高専で築いた経験や仲間とのつながりは、きっとこれからの人生の大きな力になるはずです。私たち在校生も、先輩方から受け取った想いを胸に、先輩方のように周囲から安心して頼ってもらえる存在になれるよう努力し、より良い高専を築いていきます。

この先どんな道を選ばれても、先輩方の歩みが実りあるものになることを願っています。



学生会を代表して

八代キャンパス学生会会長 建築社会デザイン工学科4年 園田 智駿



卒業生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。学生会を代表して、心よりお祝い申し上げます。

先輩方と過ごした日々は、私たちにとって本当に大切な思い出です。高専祭や球技大会の準備で一緒に悩んだことや、何気ない会話の中で笑い合ったこと、そして真剣に取り組む先輩方の姿は、今も心に残っています。気づけばあっという間の時間でしたが、その一つ一つが私たちの宝物です。

先輩方はいつも私たちの目標であり、憧れの存在でした。困ったときには声をかけてくださり、温かい言葉で支えてくださったことに、心から感謝しています。また、行事や活動を通して、先輩方が責任をもって最後までやり遂げる姿から、私たちは多くのことを学びました。うまくいかないときでも諦めず、仲間と協力しながら前に進む姿は、私たちに勇気と希望を与えてくれました。その背中を追い続けてきた日々が、今の私たちを支えています。

これから皆さんは、それぞれ新しい場所で新しい一歩を踏み出されます。不安なこともあるかもしれませんが、高専での経験や仲間とのつながりが、きっと力になってくれるはずです。嬉しいときも、苦しいときも、ここで過ごした日々が、きっと皆さんの心を支えてくれることでしょう。皆さんの未来が明るく実り多いものになりますよう、心より願っています。



当たり前を引き継いで

熊本キャンパス明和寮男子寮長 情報通信エレクトロニクス工学科4年 村北 憲道



卒業生の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。

寮という、学年や学科を越えて人と関わる機会の多い環境の中で、常に周囲を引っ張り、背中を見せてくださっていた先輩方を送り出すことに、嬉しさと同時に大きな寂しさを感じています。

先輩方は、学校生活でも寮の運営においても、そして行事や遊びの場面においても、いつも全力で取り組んでいる姿がとても印象的でした。特に文化祭では、全力で楽しみ、全力で盛り上がる姿がとても面白く、見ているこちらまで自然と笑顔になるような時間だったことをよく覚えています。学年を重ね仕事を引き継いで、「昨年の先輩方はこれを当たり前のようにこなしていたのか」と思う場面が

増え、その優秀さや懐の深さに何度も驚かされました。

明和寮は年々人数を増やし、私が入学した頃と比べると、寮全体の空気も大きく変わってきたように感じます。そうした変化は、先輩方が日々の生活の中で築き、積み重ねてこられたものによるのだと、在校生として実感しています。私自身も寮長として、その姿勢や在り方に何度も助けられ、学ばせていただきました。

卒業後、それぞれの道に進まれる皆さんは、きっとその先でも輝かしい活躍を見せてくださるのだらうと、安心して送り出すことができます。またどこかでお会いし、その活躍を直接聞ける日を楽しみにしています。

皆様のこれからの歩みが、実り多いものとなることを心より願っています。



ご卒業おめでとうございます！

八代キャンパス卒業寮寮長 生物化学システム工学科4年 橋本 紬



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

4年前の入寮の日、新しい生活に不安でいっぱいだった私たちをチューターとして優しく笑顔で迎えてくれたことを鮮明に覚えています。最初は挨拶もちゃんとできないような後輩でしたが、生活していく中で色々な事を教えていただき人としてたくさん成長することができました。この4年間、一緒にご飯を食べたり、くだらない相談に乗ってもらったり、イベントではしゃいだり、先輩方との思い出があまりにも多く、卒業を迎えられることがとても寂しいです。

寮役員を引き継いでからはこれまで先輩方がしてくださっていたことの大変さを実感しています。先輩方は私たちの知らないところでたくさんの工夫を重ね、とても良い雰囲気のを寮を作り上げてくださいました。おかげで私たち後輩は、寮生活を穏やかに楽しく過ごすことができていました。また、とても優しく楽しげ

な雰囲気の前輩方でしたが、守るべきところをしっかりと守り、いつも正しい姿を見せ後輩のお手本になってくれていました。私たちも先輩方のように、優しく正しい先輩になれるように頑張ります。

最後になりますが、これまで頂いたたくさんのご指導とやさしさに感謝申し上げます。先輩方のこれからの日々が素晴らしいものとなるよう、寮生一同心より応援しております。本当にありがとうございます。



退任にあたって 電子情報教育部門 制御情報システム工学分野 永田 正伸



平成15年4月に本校の前身の熊本電波高専に助教授として着任し、22年間の教員生活も終わりとなりました。高専に着任する以前は、民間企業に4年、第3セクター付属の研究所に15年勤務し、研究所でも研修制度での授業を担当していましたが、教員としての授業は初めてで、また、専門外の授業も担当となり、1～2年間は平日は学校で遅くまで、土日は自宅で、授業の準備などで本当に忙しかったことを思い出します。着任当時は、高専の独法化、JABEEの導入、シンガポールへの海外研修旅行の開始など、まさに熊本高専変革の時でした。次年度からは新しい学科体制が始まり、熊本高専は、これからのより良い教育と社会連携を目指して常に変革し続けていくことと思います。今後は、熊本高専の一卒業生として、見守っていただければと思っています。

退任するにあたって 基幹教育部門 理数総合科学分野 上土井 幸喜



早いもので、高専に勤務してから30年以上たち、今年度、退職を迎えることになりました。これまでいろいろな事がありましたが、その中ですごく印象に残っている出来事があります。1年生で留年した学生が、2年目の最初の授業でうつぶせで寝ていたので、正直ちょっとむっとしたので、近くに行って、教科書で頭をたたいたんです。今だったら体罰になりそうで、問題行動ですが、その学生が授業が終わった後、僕の教員室まで「ありがとうございました」とお礼を言いに来たんです。ちょっとびっくりしたんですが、すごく印象的な出来事でした。これは僕の中では、学生と関わる上でのポイントを教えられた気がしています。迷いながら教職につきましたが、30年以上やりがいのある仕事を無事続けさせて頂いたことに感謝申し上げます。

退任するにあたって 基幹教育部門 理数総合科学分野 磯谷 政志



1994年に母校に着任してから32年間、大変お世話になりました。最初の居室は専門棟の4階で、クーラーのない夏の暑さとスチーム暖房が切れた後の冬の寒さが思い出されます。15年前に図書館棟の渡り廊下の居室に移動したのは、東日本大震災の直後でした。夏の猛暑と冬の底冷えは相変わらずでしたが、図書館が近くなったので本好きの私にとっては嬉しいことでした。最後の担任はコロナ禍の1年目。卒業式も入学式も中止になった学生諸君は、入学後もコロナ対応の授業など大変な時期を乗り越え、びっくりするくらい大きく成長して昨年卒業してくれました。高専生の懐の深さと対応力の高さを実感しました。

いつまでも気持ちが若々しくいられたのは、若さはじける学生諸君と毎日接していたことが大きいと思います。本当にありがとうございました。

4月からは学科改組に対応した学生が入学し、高専の新しい歴史が始まります。退職しても同窓会の役員は続きますので、これからは応援団として、素直で真面目な明るい学生諸君の成長を見守って行きたいと思っています。

教職員
退職者
一覧

定年退職者等			
校長	高松	洋	
教授	小松	一男	※
教授	小田	明範	※
教授	四宮	一郎	※
教授	藤本	洋一	※

(※ 4月から再雇用教職員)

再雇用期間満了退職者等	
永田	正伸
上土井	幸喜
磯谷	政志
高木	眞弓
下田	誠
吉田	修二

令和7年度の進路状況について（熊本キャンパス）

キャリア教育推進室 本木 実

本科卒業生ならびに専攻科修了生の皆さん、ご卒業ご修了おめでとうございます。保護者の皆さまにおかれましても心よりお慶び申し上げます。

今年度の就職進学・就職状況を次項の表にまとめております（1月末現在）。熊本キャンパスの本科では66%が就職、34%が進学、専攻科では68%が就職、32%が大学院進学です。就職についてですが、近年売り手市場であることと業界から高専卒業生へのニーズが高いことから多方面より多くの求人を頂いておりました。就職人数は例年と比べやや増えた傾向があります。そして、早期化が一段と進んでいる状況や、厳選採用の傾向が一段と強まっているようです。4月からは社会人としてこれまでに得た知識・経験をもとに、それぞれの目標をもって活躍して欲しいと思います。進学につきましても、大学によっては2次募集で多くの高専生が受ける状況がみられることもありますが、例年と大きく変動はしておりません。また本校では九大連携も進み、熊大連携も次年度から新規に始まります。進学先では高専で得た知識に加え、より専門性の高い、より高度な知識の習得とそれを応用した研究・開発を行うことになると思います。

皆さんの今後のご活躍とご多幸を心より祈念申し上げます。

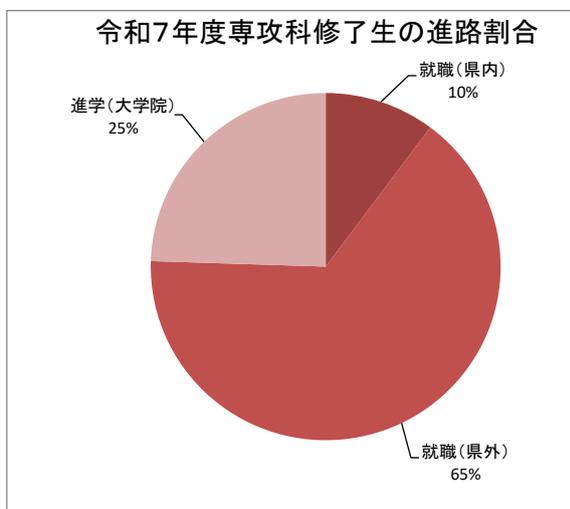
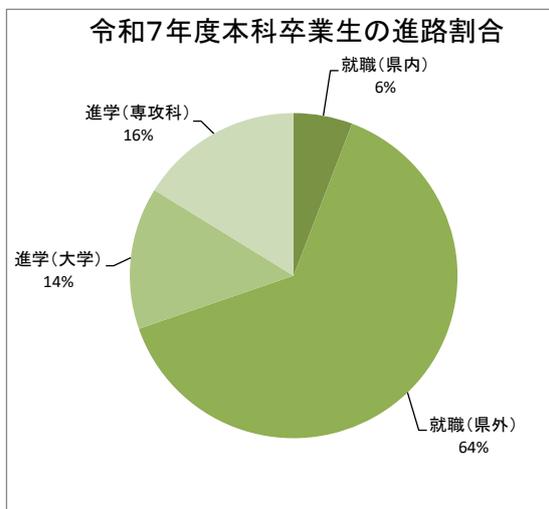
令和7年度の進路状況について（八代キャンパス）

キャリア教育支援室 毛利 存

今年度の八代キャンパス全体の傾向としては、就職を選択する学生が増加し、それに対して進学者数は減少する結果となりました。本キャンパスはもともと他高専と比較して就職率が高い傾向にありましたが、今年度はその傾向がさらに強まったようです。背景には、企業の求人需要の高まりや、それに伴う待遇改善の影響があると推察されます。

就職活動については、年々早期化、長期化の傾向が顕著になっています。早い学生では4年生の12月時点で内々定を得る一方、遅いグループでは5年生の12月頃まで活動を継続しておりました。これは、各自が自分のペースで就職活動を行えるというメリットがある反面、人気企業においては、かなり早い段階、おそらく4年生のインターンシップの時点から実質的な採用活動が始まっていることを示しています。このため、進路指導についても、今後はより前倒しで実施していく予定です。

進学に関しては、大学編入学、専攻科希望者がともに昨年度より減少する結果となりました。好況期に就職するという選択も一つの考え方ではありますが、今後は就業年数の増加や労働者の流動化がさらに進むことが見込まれます。そのような状況を踏まえ、今後進路を検討する学生に対しては、専門性を高め、スキルを身に付けるという観点からも、進学について積極的に情報収集を行うことを勧めていきます。



令和7年度本科卒業生・専攻科修了生進学先一覧

(令和8年1月末現在)

企業名等	学 科 名 専 攻 科	本 科					専 攻 科		合 計	
		熊本キャンパス		八代キャンパス			熊本キャンパス	八代キャンパス		
		情報通信エレクトロニクス工学科	制御情報システム工学科	人間情報システム工学科	機械知能システム工学科	建築社会デザイン工学科	生物化学システム工学科	電子情報システム工学専攻		生産システム工学専攻
茨城大学		1							1	
九州工業大学			3		1				4	
九州工業大学大学院							2		2	
九州大学大学院							3	1	4	
京都大学				1					1	
熊本高専専攻科		7	7	6	6	5	4		35	
熊本高専専攻科／九州大学工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコース（※）		2	1	1					4	
熊本大学		2	1		1	5	1		10	
熊本大学大学院								2	2	
佐賀大学		1	1						2	
筑波大学		1	1						2	
筑波大学大学院							2		2	
東京大学			1						1	
東京都立大学						1			1	
同志社大学		1							1	
豊橋技術科学大学				1			3		4	
豊橋技術科学大学大学院								2	2	
長岡技術科学大学						1	1		2	
名古屋工業大学		1							1	
日本歯科大学				1					1	
山形大学						1			1	
早稲田大学			1		1				2	
合 計		16	16	10	9	13	9	7	5	85

※熊本高専専攻科と九州大学の双方に在籍する

令和7年度本科卒業生・専攻科修了生就職先一覧

(令和8年1月末現在)

企業名等	学科名 専攻名	本 科						専 攻 科		合 計
		熊本キャンパス			八代キャンパス			熊本キャンパス	八代キャンパス	
		工情 学報 科多通信	工制 学御 科ム情報	工シ人 学ス間 科ム情報	工シ機 学ス械 科ム知能	工デ建 学ザ築 科イン会	工シ生 学ス物 科ム化学	工シ電 学ス子 専攻ム情報	工シ生 学ス専 攻ム産	
RKKCS			1						1	
アイ・エス・ビー		1	2						3	
あおみ建設						1			1	
アクセント							2		2	
アドバンテスト								1	1	
網屋	1								1	
あめいろ工務店						1			1	
アルプス技研				1					1	
イシダ				1					1	
ANAラインメンテナンステクニクス				1					1	
エクシオ	2								2	
エクシオ・デジタルソリューションズ			1						1	
SRD			1						1	
エスユーエス		1							1	
NECソリューションイノベータ							1	1	2	
NECネットエスアイ		1							1	
NECプラントエンジニアリング			1			1			2	
NSW				1					1	
エヌ・ティ・ティ・インフラネット						1		1	2	
NTTデータSBC			1				1		2	
NTTデータソフィア			2						2	
NTT西日本	1		1						2	
ENEOS							2		2	
エム・シー・シー	2								2	
Mテック								1	1	
応用電機	1			1					2	
オークマ				1					1	
大阪シーリング印刷							1		1	
おおたに造園	1								1	
オムロン フィールドエンジニアリング			1						1	
オリエンタル白石						1			1	
花王				1		1			2	
鹿島建設						2			2	
カネカ							2	1	3	
川田工業								1	1	
カンセツ				1					1	
キャノン	1								1	
キャノンメディカルシステムズ		1							1	
九州旅客鉄道						1			1	
Q s o i	1						1		2	
京セラ							1		1	
京セラコミュニケーションシステム			1						1	
グッド・フィール		1							1	
久原本家食品							1		1	
クボタ				1					1	
クレスコ		1	1						2	
クレスコ・デジタルテクノロジー			1						1	
KMバイオロジクス							1	1	2	
KDDI							1		1	
KDDIエンジニアリング			1						1	
KDDIケーブルシップ	2								2	
原子力規制庁		1							1	
建築工業								1	1	
高速道路トールテクノロジー		1							1	
国土交通省九州地方整備局						2			2	
コスモ石油							1		1	
サントリー		1							1	
サントリーグループ				1					1	
CTCシステムマネジメント	1								1	
ジェイ・クリエーション			1						1	
JFEエンジニアリング				1					1	
ジェコス						1			1	
シマノ		1							1	
ジャパン マリンユナイテッド				1					1	
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing							1	1	2	
神鋼テクノ				1					1	
住友不動産								1	1	
千寿製薬							1		1	
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	1			3					4	
ソフト九州			2						2	
ソフトバンク	1								1	
第一三共							5		5	
大成建設						1			1	
高田工業所				1					1	

企業名等	学科名 専攻名	本 科						専 攻 科		合 計
		熊本キャンパス			八代キャンパス			熊本キャンパス	八代キャンパス	
		工学 情報 通信 科	工学 制御 情報 科	工学 人間 情報 科	工学 機械 情報 科	工学 建築 社会 科	工学 生物 化学 科	工学 電子 情報 専攻 科	工学 生産 専攻 科	
タマディック		1							1	
中外製薬工業							1		1	
千代田エクスワンエンジニアリング							2		2	
DIC							1		1	
TDCソフト			2						2	
データアナリティクスラボ		1							1	
テックファーム			1						1	
テラダイン		1					2		3	
東亜石油							1		1	
東海旅客鉄道			1						1	
東急建設					1				1	
東京エレクトロン		1	1		3		2	2	9	
東京ガス					1				1	
東洋新薬								1	1	
トーテックアメニティ			1	1					2	
TOWA				1					1	
戸田建設						1			1	
富坂建設		1							1	
トヨタシステムズ			1						1	
ニコン			1						1	
西日本高速道路		1				2			3	
西日本高速道路エンジニアリング九州								2	2	
西日本高速道路ファシリティーズ		1							1	
西日本旅客鉄道			1	1		1			3	
日信電子サービス		1							1	
日鉄エンジニアリング						1			1	
日本アルゴリズム								1	1	
日本血液製剤機構							1		1	
日本港湾コンサルタント						1			1	
日本触媒							1		1	
日本飛行機			1						1	
日本電子							1		1	
日本マイクロバイオファーマ								1	1	
ニュージェック						1			1	
パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション					1				1	
パナソニックEWエンジニアリング					1				1	
パナソニックオートモーティブシステムズ			1						1	
パナソニックコネクテ		1					2		3	
PARA-SOL			1						1	
半導体エネルギー研究所					1				1	
東日本旅客鉄道						1			1	
肥後銀行							2		2	
平田機工			1					1	2	
平岩建設						1			1	
ファインディックス				1					1	
ファナック			1						1	
フォスター電機					1				1	
富士テクノ		1							1	
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン				1					1	
フジブルーフ工専						1			1	
古野電気								1	1	
プレクサーテクノロジー					1				1	
堀場エステック		1							1	
本田技研工業			1		1				2	
マイスティア			1						1	
三井不動産レジデンシャルサービス						1			1	
三菱重工		1							1	
三菱電機エンジニアリング			1						1	
メタウォーター			1	1		1			3	
メルコセミコンダクタエンジニアリング					2				2	
メンバーズ				2					2	
安川電機								1	1	
ヤマザキマザック					1				1	
ユー・エス・イー				1					1	
雪印メグミルク							2		2	
ライオン							1		1	
リーディングマーク					1				1	
リコー								1	1	
RitaX						1			1	
ルネサス セミコンダクタ マニファクチャリング								1	1	
ロイヤル							1		1	
合 計		27	20	33	33	25	29	15	22	204

高専ロボコン全国大会に出場し、熊本キャンパスがロボコン大賞、八代キャンパスが特別協賛賞を受賞しました。

令和7年11月16日、東京両国国技館にて、「高専ロボコン2025全国大会」が開催されました。本大会では全国8つの地区大会で選出された計25チームが参加してロボット製作・制御技術を競い、本校は熊本キャンパスがロボコン大賞・準優勝、八代キャンパスが特別協賛賞（東京エレクトロン）を受賞しました。

■熊本キャンパス出場チーム：強奪名星（ロボスター）

熊本キャンパスはシード枠で2回戦から出場し、旭川高専と対戦しましたが、通信トラブルにより4m20cmのゲート作成が失敗し敗退しました。しかし戦いぶりが評価され、ワイルドカードでトーナメントに復活しました。準々決勝では富山高専（射水）に対し、通信不良が残る中でも3m20cmのゲートを完成させ勝利しました。続く準決勝では産技高専（荒川）と接戦となり、ペナルティーを受けながらも落ち着いて3m20cmのゲートを作り勝ち上がりました。決勝では再び旭川高専と対戦し、大会最高となる4m20cmのゲートを完成させて475点を獲得しましたが、わずかに届かず準優勝となりました。それでも果敢な挑戦が評価され、ロボコン大賞を受賞しました。

■八代キャンパス出場チーム：建築は旋門凱（けんちくはせんもんがい）

1回戦で旭川高専と対戦しました。旭川高専のゲート周回を積み重ねることで点数を稼ぐロボットに対し、前日のテストランでは成功していた今大会の最高の高さ4m20cmのゲートを作る作戦で挑みました。しかしながら、大会当日の通信不良で、共有ゾーンでファールとなり、その後懸命の早さでゲートの完成を目指しましたが達成できず、5-480で敗退となりました。

表彰式では、4mを超えるゲートへの挑戦が評価され、特別協賛賞（東京エレクトロン）を頂きました。



高専プロコン本選に出場し、自由部門で最優秀賞・特別賞・企業賞を受賞しました。

令和7年10月11日～12日、島根県松江市のくにびきメッセで第36回全国高専プログラミングコンテスト本選が開催され、熊本キャンパスと八代キャンパスから自由部門・競技部門に各1チームずつ、計4チームが出場しました。

自由部門では、66チーム中予選を突破した21チームが作品の発表とデモを行い、熊本キャンパスの「CPR BEAT」が最優秀賞、文部科学大臣賞、情報処理学会若手奨励賞、電子情報通信学会若手奨励賞、チームラボ株式会社企業賞、NICT賞など多数の賞を受賞しました。本作品は、心肺蘇生法をリズムゲーム形式で楽しく学ぶことを目的としたツールで、救命行動の普及に貢献する点が高く評価されました。八代キャンパスの「Mr.PET」も、ペットボトルを素材にオリジナルのプラモデルを作るシステムとして注目され、特別賞と株式会社NSD企業賞を受賞しました。

競技部門のテーマは「縁結び」をモチーフにした数字パズルで、各校が効率的にペアを作るプログラムを競いました。全国54チームが参加し、熊本キャンパスは準決勝第1試合で6位、八代キャンパスは準決勝第2試合で9位という成績を収めました。両キャンパスとも自由部門・競技部門で健闘し、独創性と技術力を発揮した大会となりました。



「デザコン 2025 in 福井」 空間デザイン部門にて、 最優秀賞を受賞しました。

令和7年11月8日～9日に福井県鯖江市の福井高専で「第22回全国高専デザインコンペティション(デザコン2025 in 福井)」が開催されました。

本大会は、生活空間を構成するための総合的な技術としてのデザインを競い合う場となっており、今年は「織りなす」をメインテーマとして実施されました。

5部門のうち「空間デザイン部門」では、多様な人々が助け合いながら共に暮らす「織りまざる住まい」が課題として設定され、全国から110点の応募があり、事前の予選審査によって10作品が本選に選出されました。本校から応募した5作品のうち1作品が予選を通過し、本選で最優秀賞を受賞しました。

■空間デザイン部門「君マチー君と広げる小さな町ー」

受賞作品は、小国町の豊かな自然を生かした学童保育を提案したもので、地域子どもたちが成長しながらまちを将来へとつないでいく仕組みを、丁寧な現地調査に基づいて示した点が高く評価されました。また、敷地条件に合わせた小国杉の活用や、子どもの成長と地域の循環を結びつけた構想についても審査員から高い評価を得ています。



第10回廃炉創造ロボコンに出場し技術賞を受賞しました。

令和7年12月20日、福島県の櫛葉遠隔技術開発センターで開催された第10回廃炉創造ロボコンに、熊本キャンパスからA・Bの2チームが出場し、Bチームが技術賞(日本原子力研究開発機構理事長賞)を受賞しました。

廃炉創造ロボコンは、文部科学省の原子力人材育成事業を基に行われ、ロボット製作を通して学生に廃炉への理解を深めさせ、創造性や課題解決力を養うことを目的としています。本大会では、直径0.6m、長さ1.5mの配管を通過し、幅0.5mの狭隘部を抜けて階段を下り、燃料デブリのサンプルを回収して戻るといった高度な課題が課されました。

Aチームは、不整地走行を重視した三対構成のクローラーと高精度アームを組み合わせ、操作性向上にも工夫した実用性の高いロボットを製作しました。

Bチームは、三つのクローラーと八つの関節を備えたヘビ型ロボットを開発し、転倒しても走行可能な内部機構やワンタッチ着脱式のメンテナンス性、複数人で同時操作可能なUIなど、実際の現場を想定した設計を追求しました。

両チームとも課題達成のためのアイデアを実現し、ロボットの持つ性能を十分披露しました。特にBチームは長年取り組んできた蛇型機構で困難な課題に挑戦した姿勢が評価され、技術賞を受賞しました。



学生生活支援室より

八代キャンパス 学生生活支援室長 小鉢 暢夫

卒業生・修了生のみなさん、ご卒業・修了おめでとうございます。

さて、ここ数年の夏はとても暑く、最高気温が体温を超え、酷暑という言葉があてはまるような日々が続くようになりました。特に、九州では春が一気に通り過ぎ、10月になっても秋を感じられないようになりました。本当に、熱中症対策への注意喚起が聞こえてこない日がないくらいです。一方、日本海側では、雪の降り方が非常に多くなってきているようです。最近では、熱中症ならぬ深部体温が35℃以下の状態になる低体温症（寒さからだけでなく、熱中症によって体温調節がうまく働かず、熱がこもる場合と逆に低体温状態になる場合もあります）や、短時間のうちに狭い範囲に集中豪雨をもたらす線状降水帯ならぬ発達した雪雲が、同じ場所に停滞し、短時間に集中豪雪となるJPCZという言葉を目にするようにもなりました。

卒業生・修了生の皆様だけでなく、これから社会へ羽ばたこうとしている在校生諸君も、いろいろな土地へ赴くことになるでしょう。場所は違っても、我々ができうる基本的な予防法は、食事、睡眠に気を付け規則的な生活を送ること、ストレスをためないこと、エアコンを適切に活用することなどではないでしょうか。特に、防寒対策としては、重ね着、首・手首・足首の温め、カイロの利用なども考えてください。また、感染症対策として、密をさける、手洗い・うがいの励行やこまめな換気などにも気を配ってください。

それでは、みなさまの心身ともに健康な生活を心からお祈りいたします。

社会で生き抜く力をつけて行くために

保健室 中西 博子



卒業生・修了生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

入学からの皆さんの心身の成長ぶりは、目を見張るほどで立派なご成長を拝見して感慨無量の想いです。

皆さんの入学は、コロナ禍とともに始まりましたね。誰も経験したことのない未知との闘い。コロナの異常事態の新入学で、不安で一杯だったことでしょうか。コロナ禍では、人とのかわりがいかに大切であるか、また、諸行無常に気づかされましたね。

これから急速に変化していく社会で、生き抜く力をつけていくために必要なことは、何でしょう。それは、知・徳・体です。先ずベースに健康な体があってこそ、知識と技術を伸ばし、人とのかわりの中で多くの学びを得て人間性を磨いていくことが出来るでしょう。健康第一です。

新社会人として新生活のはじまりです。親御さんの庇護のもとから旅立ち、いよいよ自力での生活スタート。スマホの時間泥棒から卒業して、自分のことは自分で行う時間の確保のために、デジタルデトックスをして早寝、早起き、朝ごはんの健康生活をお勧めします。体内時計調整、ホルモン分泌活性、脳の活性化、免疫力向上になります。一方、スマホ依存症には、ご注意ください。

自分時間の確保から人生を切り開いていってください。時間はみんな平等に与えられていますね。いかに生きるかは、時間をどのように使うのかに繋がります。皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りしています。

株式会社三井三池製作所とネーミングライツ契約を締結しました。

本校では教育研究環境の向上を目的として、令和6年10月に「熊本高等専門学校ネーミングライツ事業及び広告事業取扱規則」を制定しました。このたび校内審査を経て、株式会社三井三池製作所を第1号のネーミングライツ・パートナーとして決定し、令和7年9月1日から3年間、八代キャンパス第1体育館の愛称を「さんさく不知火アリーナ」とする契約を締結しました。（「さんさく」は同社の略称）

令和7年9月26日には開設記念式典を挙行し、高松 洋校長と株式会社三井三池製作所 代表取締役社長 中村 元彦氏が未来のエンジニア育成や地域連携強化への期待を述べました。続いてテープカットや記念撮影を行い、田中副校長が謝辞を述べ、愛称の使用が正式にスタートしました。式典には本校卒業生で三井三池製作所に勤務する5名も参加しました。

本施設は授業や課外活動、市民への貸出にも利用されており、館内の愛称サインにより地域に親しまれることが期待されています。本契約を機に、両者は地域貢献と未来のエンジニア育成に向けた連携をさらに深めてまいります。



PCSHS Loei校との交流協定を更新しました。

2025年12月17日、本校はタイ王国の Princess Chulabhorn Science High School Loei (PCSHS Loei) 校との交流協定を更新しました。

高専機構は2018年にPCSHSと学術交流協定を締結しており、本校でも2021年2月18日に交流協定を締結して以降、タイ王国で開催される Thailand Japan Student Science Fair(TJSSF)や Thailand Japan Student ICT Fair への参加をはじめ、本校が2025年8月に開催した「KOSEN Global Camp 2025 in Kumamoto」などの国際交流活動、学生研修旅行やオンライン交流など、様々な交流を重ねてきました。

本年度で初回締結の交流協定の期限を迎えるにあたり、12月17日から12月20日にPCSHS Pathum Thani 校で実施された TJSSF 2025での学生生活の視察を兼ねて本校の高松校長が現地を訪問し、今後5年間の協定更新を行いました。

調印式にはタイ教育省関係者、PCSHS 各校、日本側参加校代表者が出席し、高松校長と PCSHS Loei の Kittichai Kruaitong 校長が互いに協定書に署名しました。最後に記念品を交換し、両校のさらなる交流発展と継続的な成長を祈念しました。



本校学生が修復作業に協力した、鶴之湯旅館の修復工事が完了しました。

鶴之湯旅館は令和2年7月豪雨で被災後に修復を経て営業を再開していましたが、このたび嵩上げ工事のため再度休館となり、建物を吊り上げる工程で一部の土壁が切り落とされたことから、本校の建築社会デザイン工学科および専攻科(土木・建築系)の学生たちが修復作業に協力しました。

建築社会デザイン工学科ではこれまででも旅館の復旧・復興支援に携わっており、今回の活動は、学生にとって実践的な学習の場となりました。土壁の完全な復旧には時間を要したため継続的に作業が行われ、令和7年12月には修復工事が完了し、旅館は営業を再開しました。

支援活動には令和6年度は本科5年生3名、令和7年度は本科2年から専攻科2年生までの12名が参加し、土壁塗り、漆喰仕上げ、障子貼り、床板や畳敷きなど多岐にわたる作業に取り組みました。こうした取り組みを通じて、地域との連携がさらに強化され、実践的な教育の充実にもつながりました。



熊本キャンパス

4月

5日(日)	入学式
6日(月)	始業式・新入生オリエンテーション
7日(火)	授業開始
7日(火)	新入生研修(学内)
30日(木)	春季クラスマッチ

5月

1日(金)	春季クラスマッチ
9日(土)	授業参観・保護者懇談会・奨学後援会総会・寮生保護者会総会
15日(金)	専攻科推薦選抜検査(電子情報システム工学専攻)
23日(土)~24日(日)	高校総体
30日(土)~31日(日)	高校総体

6月

1日(月)~3日(水)	高校総体
3日(水)~9日(火)	前期中間試験
12日(金)	専攻科学力選抜試験(電子情報システム工学専攻)
27日(土)~28日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会

7月

2日(木)~5日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会
11日(土)~12日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会
17日(金)~19日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会
17日(金)	本科編入学者選抜検査
24日(金)~30日(木)	前期定期試験(本科・専攻科)

8月

1日(土)	オープンキャンパス
8日(土)~9月27日(日)	夏季休業

9月

28日(月)	後期授業開始
--------	--------

八代キャンパス

4月

5日(日)	入学式
6日(月)	ICTガイダンス
7日(火)	始業式
8日(水)	授業開始
9日(木)~10日(金)	新入生研修(学内)

5月

1日(金)	授業参観・保護者懇談会・後援会総会・寮生保護者懇談会
8日(金)	球技大会
15日(金)	専攻科推薦選抜検査(生産システム工学専攻)
23日(土)~24日(日)	高校総体
30日(土)~31日(日)	高校総体

6月

1日(月)~3日(水)	高校総体
3日(水)~9日(火)	前期中間試験
12日(金)	専攻科学力選抜試験(生産システム工学専攻)
27日(土)~28日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会

7月

2日(木)~5日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会
11日(土)~12日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会
17日(金)~19日(日)	九州・沖縄地区高専体育大会
17日(金)	本科編入学者選抜検査
24日(金)~30日(木)	前期定期試験(本科・専攻科)

8月

2日(日)	オープンキャンパス
7日(金)~9月27日(日)	夏季休業
24日(月)~27日(木)	保護者懇談会(個人面談)

9月

28日(月)	後期授業開始
--------	--------

※行事予定については変更になることもございますので、最新の予定一覧(本校公式Webに掲載)をご確認ください。

熊本高専だより 2026. SPRING No.40

【発行】広報戦略室 令和8年3月

編集後記

ご卒業・修了おめでとうございます。今後、未知の課題に直面した時、最大の武器になるのは知識だけではなく、「とりあえず挑む姿勢」です。

失敗を含めて楽しみ、泥臭く挑戦を続けてください。その先にある景色が、素晴らしいものになることを願っています。



熊本高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

